

事務事業名		越喜来簡易水道施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業	<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業																											
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 25 年度～ 27 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																												
	施策名	良好な生活空間の創造																														
	基本事業名	上水道・簡易水道の整備																														
根拠法令		水道法		<table border="1"> <tr> <th colspan="5">予算科目</th> </tr> <tr> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業</th> </tr> <tr> <td>16</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>01</td> </tr> </table>		予算科目					会計	款	項	目	事業	16	01	01	02	01												
予算科目																																
会計	款	項	目			事業																										
16	01	01	02	01																												
所属	部課名	都市整備部簡易水道事業所		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総投入量 (千円)</th> <th colspan="2">全体計画 (※期間限定複数年度のみ)</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>503,385</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>390,800</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>112,690</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>1,006,875</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>4,800</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>19,200</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>1,026,075</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)		全体計画 (※期間限定複数年度のみ)		事業費	財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金	503,385	地方債	390,800	その他	112,690	一般財源		事業費計 (A)	1,006,875	人件費	正規職員従事人数	2	延べ業務時間	4,800	人件費計 (B)	19,200	トータルコスト(A)+(B)	1,026,075
	総投入量 (千円)		全体計画 (※期間限定複数年度のみ)																													
	事業費	財源内訳	国庫支出金																													
		都道府県支出金	503,385																													
地方債		390,800																														
その他		112,690																														
一般財源																																
事業費計 (A)		1,006,875																														
人件費	正規職員従事人数	2																														
	延べ業務時間	4,800																														
	人件費計 (B)	19,200																														
トータルコスト(A)+(B)	1,026,075																															
課長名	中井 吉隆		<p>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</p> <p>越喜来簡易水道は、昭和45年度に創設され、計画1日最大給水量730m³/日の能力に施設整備されているが、生活形態の変化により生活用水量の増加が見られ、近年、計画給水量を大きく上回る状況になっており、施設能力の限界近くで運転しているため維持管理に苦慮している。また、現在の水源は山間を流れる河川(浦浜川)から取水しているが、上流部が野生鹿の生息地となっており、感染症腸炎の病原体であるクリプトスポリジウム等による汚染が心配される。</p> <p>これらの問題を解消するため、平成19年度に計画1日最大給水量1,200m³/日の変更認可を受け、平成23年度から工事を着手する予定としていたが、震災のため中断していた。平成25年度より事業に着手し、施設の抜本改良することにより、良質な水道水の安定供給を図る。なお、集落環境整備事業の導入により、平成25年度は、修正設計業務と、機械設備・電気設備・土木工事を債務負担行為により実施。平成26年度は債務負担行為による機械設備・電気設備・土木工事と、建築工事、ポンプ室更新実施設計業務を実施し完了予定であったが、機械設備・電気設備・土木工事の一部を平成27年度へ繰越している。平成27年度は平成26年度からの繰越分の機械設備・電気設備・土木工事の一部と、建築工事の一部及びポンプ室更新工事と浄水場土木工事を実施する予定である。</p>																													
係名	簡易水道係	電話			0192-27-3111																											
担当者	館下 睦章	内線			202																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 浄水場・ポンプ場設備更新</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 浄水場・ポンプ場設備更新	箇所	イ		ウ	
名称	単位								
ア 浄水場・ポンプ場設備更新	箇所								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動)									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
越喜来地区の住民(甫嶺を除く)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 給水区域内人口(計画給水区域内人口)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 給水区域内人口(計画給水区域内人口)	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 給水区域内人口(計画給水区域内人口)	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
増加する水需要に対し安定した供給をする。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 給水人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 計画1日最大給水量</td> <td>m³/日</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 給水人口	人	シ 計画1日最大給水量	m ³ /日	ス	
名称	単位								
サ 給水人口	人								
シ 計画1日最大給水量	m ³ /日								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
住みやすい生活環境になる。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																																			
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>125,000</td> <td>144,130</td> <td>234,255</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>12,500</td> <td>144,100</td> <td>234,200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>112,509</td> <td>125</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>250,009</td> <td>288,355</td> <td>468,511</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6,400</td> <td>6,400</td> <td>6,400</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>256,409</td> <td>294,755</td> <td>474,911</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤ 活動指標</td> <td>ア</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥ 対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td>1,933</td> <td>1,943</td> <td>1,943</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦ 成果指標</td> <td>サ</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td>1,912</td> <td>1,923</td> <td>1,923</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>m³/日</td> <td></td> <td></td> <td>730</td> <td>730</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			単位	年度						23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	投入量	事業費							財源内訳							国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円			125,000	144,130	234,255	地方債	千円			12,500	144,100	234,200	その他	千円			112,509	125	56	一般財源	千円						事業費計(A)	千円	0	0	250,009	288,355	468,511	0	人件費								正規職員従事人数	人			2	2	2		延べ業務時間	時間			1,600	1,600	1,600		人件費計(B)	千円	0	0	6,400	6,400	6,400	0	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	256,409	294,755	474,911	0	⑤ 活動指標	ア	箇所			1	1	4	イ							ウ							⑥ 対象指標	カ	人			1,933	1,943	1,943	キ							ク							⑦ 成果指標	サ	人			1,912	1,923	1,923	シ	m ³ /日			730	730	1,200	ス						
	単位			年度																																																																																																																																																																															
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																												
投入量	事業費																																																																																																																																																																																		
	財源内訳																																																																																																																																																																																		
	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																																	
	都道府県支出金	千円			125,000	144,130	234,255																																																																																																																																																																												
	地方債	千円			12,500	144,100	234,200																																																																																																																																																																												
	その他	千円			112,509	125	56																																																																																																																																																																												
一般財源	千円																																																																																																																																																																																		
事業費計(A)	千円	0	0	250,009	288,355	468,511	0																																																																																																																																																																												
人件費																																																																																																																																																																																			
正規職員従事人数	人			2	2	2																																																																																																																																																																													
延べ業務時間	時間			1,600	1,600	1,600																																																																																																																																																																													
人件費計(B)	千円	0	0	6,400	6,400	6,400	0																																																																																																																																																																												
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	256,409	294,755	474,911	0																																																																																																																																																																												
⑤ 活動指標	ア	箇所			1	1	4																																																																																																																																																																												
	イ																																																																																																																																																																																		
	ウ																																																																																																																																																																																		
⑥ 対象指標	カ	人			1,933	1,943	1,943																																																																																																																																																																												
	キ																																																																																																																																																																																		
	ク																																																																																																																																																																																		
⑦ 成果指標	サ	人			1,912	1,923	1,923																																																																																																																																																																												
	シ	m ³ /日			730	730	1,200																																																																																																																																																																												
	ス																																																																																																																																																																																		

事務事業ID	0710	事務事業名	越喜来簡易水道施設整備事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	施設の老朽化が進んできたこと及び、水需要が増加し、計画給水量に対して現況の1日最大給水量が大きく上回り、緩速ろ過池の予備池の使用やろ過速度を早くするなど、施設能力の限界近くで運転しており、施設の維持管理に苦慮するようになったため。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	過去10年間の人口を見ると年々減少傾向にあることから、給水人口も減少傾向にあると推定されるが、生活形態の変化により1人当たりの生活用水量は増加している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事業は合併建設計画掲載事業であり、地域住民より早期完成を要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 簡易水道施設の整備は、良質な水を安定的に供給することにつながり、その結果、潤いに満ちた快適な都市環境の創造に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 上水道の整備は、水道法で定められた地方公共団体の義務であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 整備の対象が現在の給水区域内人口を対象としていることから、拡大・縮小の余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 現在、給水普及率は現在92.6%であり、住民の水道への依存度は高いが、すべての住民に良質な水を供給するために、さらに普及率を高めていく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事業を廃止・休止すれば、施設の老朽化がさらに進行し、安定的な水道の供給ができなくなり、生活環境の悪化につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ライフラインに関わる極めて公共性の高い事業であるため他に類似事業はなく、現状では他の方法は考えられない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事業費を大幅に削減することは難しい。ただし、これまでは全額簡易水道債により事業を行ってきたが、水産課の補助事業である漁業集落環境整備事業を導入したことにより市負担が軽減される。(補助率50%)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 施設整備に必要な設計業務等及び工事管理・監督業務は専門業者への委託で対応している。それ以外の工事発注業務等は市の必要最小限の担当者で対応していることから削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 簡易水道使用者からは給水負担金及び水道料金を徴収しており、負担は適正である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 簡易水道使用者からは給水負担金及び水道料金を徴収しており、負担は適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>今年度は、平成25年度、平成26年度2か年に渡る浄水場の機械設備、電気設備、土木工事及び建築工事を実施しているが、復興関連工事の増加による人員、資材不足により平成26年度内の完成が出来ず、平成27年度へ繰越としたが、概ね順調に進んでいる。</p>							
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>本事業は、良質で安定した水道水の供給により、快適な都市環境の整備のために引き続きすすめていく必要があるが、安心・安全な水を住民によりアピールし、普及率を拡大していくことが必要である。また、市負担を軽減し効率的な整備を図るため、引き続き補助事業である漁業集落環境整備事業を活用する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		●																		
維持			×																	
低下		×	×																	
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし</p>																				

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	簡易水道事業所長	中井 吉隆
-------	----------	-------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																				
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>施設整備により、安全で安定した水道水を供給し、さらなる普及率の拡大に努める必要がある。</p>							
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>快適な生活環境に資するため、引き続き事業を推進し早期完成を目指す。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		●																		
維持			×																	
低下		×	×																	

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
